

第 1 回看護研究会

(新任看護師教育講座)

平成28年 6月 7日 (火)

岡山県医師会館 2階 三木記念ホール

〔午前〕 講演

『ハートフルな仕事とはーホスピタリティ・マインドで生き活きと働くー』

講師 (株)タンタビーバ

取締役/OD コミュニケーター 板谷 和代 氏

〔午後〕 講演

『看護の約束ー命を守り、暮らしを支えるー』

講師 岡山大学大学院保健学研究科 看護学分野

教授 秋元 典子 先生

(一社) 岡山県病院協会

(注: 類似した感想はまとめています。)

第1回看護研究会（新任看護師教育講座）のアンケート集計（平成28年6月7日）

（51病院 206名出席 ・ 199名回答）

1. 講演『ハートフルな仕事とはーホスピタリティ・マインドで生き活きと働くー』を聞いて。

（講師：㈱タンタビーバ 取締役/OD コミュニケーター 板谷和代氏）

A.

a.大変勉強になった	116名	c. 勉強にならなかった	0名
b.勉強になった	83名	d.全く勉強にならなかった	0名

B. 感想や、今後自分で取り組んでいこうと思ったことがあればご記入下さい。

- ・ 大変勉強になった
- ・ 思いを形にしていくよう心掛けたい
- ・ 分かりやすく楽しい講演だった。自分も看護の仕事が好き
- ・ 今後の仕事に役立てたい
- ・ 目標を持って・明確にして、(笑顔を忘れずに)仕事に取り組もうと思った(3)
- ・ 目標を持って仕事をするということがなかなかできていないが、明るい表情と言葉遣いに気がつくるところから心掛けていきたいと思う
- ・ 自分の目標を改めて見つめ直そうと思った
- ・ マナーをもう一度見直して実践していきたい
- ・ マナーがとても大切であることが分かった
- ・ マナーの基本を大切にしていこう(2)
- ・ 他の人に不快を与えないよう、自分自身まずはマナーを守り仕事をしていきたい
- ・ 良いコミュニケーションを図るため、マナーを大切にしていきたい(3)
- ・ 前向きになれない気持ちの時もマナー・身だしなみはきちんとしていこうと思った
- ・ 接遇や自分の気持ちの持ちよう、全て仕事をしていく上で大切なものだと改めて感じた
- ・ マナーや言葉など考えて明日から仕事を頑張っていこうと思った
- ・ その場にあった挨拶などのマナーに取り組み、誠実な看護を誰にでもできるように意識を変えたい
- ・ マナーの基本は「心」と再認識した。先生のお話が素晴らしかった
- ・ マナーは相手への思いやりということを忘れず、まずはしっかり挨拶から見つめ直していきたい
- ・ マナーを人間として気をつけていきたい、自分の看護観を大事にしたいと思った
- ・ 看護も人と人との繋がり仕事だと思う。そのため、言葉遣いやマナー・笑顔などに気をつけていきたいと思った。この人に看護をしてほしいと思うような人になりたい
- ・ マナーの基本5原則「挨拶・お辞儀、笑顔、態度・表情、身だしなみ、言葉遣い」は思いや心を形として現すために大切なことだと学べたので、今後も気をつけていきたい
- ・ マナーの①～⑤をきちんと意識して実行していきたいと思った。自分自身も、周りのスタッフも気持ち良く仕事ができると思う。働きやすい職場作りに繋がると思った
- ・ ハートフルな仕事をするため、基本的なマナー・マナーの「基本5原則」を守って働こうと思った(3)
- ・ 新人として悩むこともあるが、ハートフルな仕事ができるよう笑顔を忘れず前向きに頑張りたい
- ・ 4月から看護師として働き始め、忙しく慣れない中で相手に対する思いやりや笑顔を忘れてしまっていることがあると気づいた。余裕がないときでもハートフルな仕事ができるようになりたい
- ・ 自分も周りも向上していくため、ハートフルな心で日々仕事をしていくことが大切だと思った。これにはマナー5原則が全て必要で、5つとも常に意識して実践していくことで自然と身に付けることができ、周りも自分も明るく気持ち良くなるのではないかと感じた。基本的なことだが、業務に追われるとできなくなってしまうことがあるので日々見直していきたい
- ・ ハートフルとは何か、職業人としての心得を学ぶことができた
- ・ ハートフルな対応ができるよう、患者が何を求めているか気づける看護を行いたい

- ・ ハートフルという思いを持って、今の仕事が次の仕事に繋がることを考えて頑張っていきたい
- ・ 家族の方と接するうえで笑顔や言葉遣いは重要なので、使っていた言葉の間違いなどに気づくことができて良かった
- ・ 気づかないうちに態度や挨拶で自分の印象が決まっていると思うと、普段から意識すべきと思った
- ・ 信頼関係を築くために、言葉遣い・態度に日々気をつけていきたい
- ・ 正しい敬語や TPO に合わせた態度・言葉で、患者さんや家族の方、上司と関わっていきたい
- ・ 基本的な言葉遣いや挨拶などをもう一度見直して、気持ち良く過ごせるようにしようと思った
- ・ 「態度・表情は目に入る言葉」という言葉がとても印象に残り、誤解のないよう心掛けたいと思った
- ・ 今まで自分が何気なく使っている言葉が間違った言葉遣いだと気づけた。意識して正しい言葉遣いをしていこうと思った。それがハートフルな看護にも繋がって行くと感じた
- ・ 自分でも分からない癖がないか見直していこうと思った
- ・ 人として言葉遣いから考えることが大切だと思った
- ・ 挨拶の大切さを改めて感じた(5)
- ・ その場その場での言葉の遣い分けを普段から習慣づける
- ・ 三つの意を込めて仕事に臨みたい
- ・ 態度など気をつけていこうと思った(2)
- ・ 笑顔で(気持ちの良い)挨拶をする(7)
- ・ (気持ちの良い)挨拶を、頑張る・続ける・きちんとする・心掛ける・大切に(9)
- ・ 患者さんにとって自分自身が病院の顔となり代表となるのだと自覚し、進んで挨拶をしていきたい
- ・ 挨拶と笑顔は本当に必要なことだと改めて思った。もっと笑顔でいたいと思う
- ・ 新人ナースとして、今できること「笑顔」「挨拶」などハートフルに頑張っていこうと思った
- ・ 笑顔で、元気よく・生き活きと頑張っていきたい(2)
- ・ 笑顔を忘れず毎日患者さんと関わりたい
- ・ ミッキー、ラッキー、ハッピーで笑顔の練習をしてみようと思う
- ・ ミッキー!ラッキー!ハッピー!を毎日して気持ちの良い挨拶ができ、より良い職場を作っていきたい
- ・ 自分が生き活きと働くためにはどうしていけばよいか知ることができたので、その内容を心に留めて働いて行こうと思う
- ・ 「大変だな」「しんどいな」と思う日々だったが、思い続けていると態度に出てしまうと先輩を見て思うこともあった。知識や技術はまだ不足しているが、笑顔だけは忘れないようにしたい
- ・ 辛いこと、しんどいことがあっても笑顔で振る舞っていこうと思った。まだ朝 6 時なので、頑張っていこうと思った
- ・ 入職 2 か月で仕事の大変さ・責任の重さの壁に当たり、とてもしんどい日々を送っていたが、ホスピタリティマインドを学び、楽しく仕事をして“しんどい”という思いを抱えずに働きたい
- ・ 今の自分は人生の半分も生きていないし、その中で人を好きになり笑顔で過ごすことはほんの僅かだと気づいた。生き活きとした仕事をする中で、楽しくするのは自分自身なのだ気づかされた
- ・ 4 月に病院を変った。自分の得意なことで貢献したい、生き活きと笑顔で仕事がしたいと考えての選択だった。今まで大切にしてきたこと、苦しかったこと、これからの希望を肯定していただく感じがしてとても嬉しく、力をいただいた
- ・ 前向きに物事を考えるヒントをいただけた(2)
- ・ 物事の感じ方・捉え方をもっと磨いていきたい
- ・ ポジティブに広い視野で考え方を考えることで楽しさも増えるので、悩んでもよくよしないようにする
- ・ 大変だなあと毎日感じていたが、ただ辛いだけでなく、考え方をプラスにする必要があったと感じた。幸福を望んで努力するのではなく、幸福な考え方で自分も努力することができるのだと感じた
- ・ どんな仕事でも、少しの考え方の違いで仕事に対する思いが変わると気づいた
- ・ 行くのが嫌になったときに、プラスに考えることをして、自分から変えていこうと思った
- ・ 幸せになるよう自分を上手にコントロールしてポジティブとなり、新人でも(だからこそ)ヤル気を UP & 効率よく仕事することで、自己肯定感+仲間への共感= We will be OK! と繋げていきたい!!

- ・ 考え方によってその時々が変わると思う。一度きりの人生だからその日その日を楽しみたいと思うが、まだ自分には楽しむ余裕がないなあと思った
- ・ 仕事を楽しむ・楽しく仕事をする(6)
 - ・ 仕事の楽しさ、やりがいを知った
- ・ 笑顔を中心掛けて、仕事を楽しめるように取り組みたい(2)
- ・ 楽しみながら働けるよう、教えて頂いたサイクルに取り組みようと思う
- ・ 仕事を続けていく上で必要なのは、その仕事をプラスに捉えて楽しんで行っていくことだと思った。今はまだ仕事に慣れるのに精一杯だが、これから看護職での楽しみを見つけていこうと思う
- ・ 考え方一つで仕事が楽しくもつまらなくもなることが分かり、やりがいを見出すことの大切さを感じた
- ・ まず、仕事に対する思いを考え直していこうと思った(2)
- ・ 「今の仕事で次の仕事が決まる」という言葉が印象的。今を大切に、明日からまた仕事を頑張る
- ・ “今日の仕事が明日の仕事を決める” 自分もこの言葉がとても印象に残った。仕事が始まって早 2 か月、いつも前に進めていないと思っていたが、明日からは意識を変えて頑張りたい
- ・ 自己肯定感を持ち・人生を楽しめるよう、仕事を好きになりたい(4)
- ・ 仕事が好きになれるよう、幸せと思うことで物事が上手くいくということを取り入れて取り組みたい
- ・ 『幸福の二つの柱』を考え、仕事が楽しいと感じられる時間になるようにしたい
- ・ 入職 2 か月経って、自分の看護は今のままでいいのだろうか疑問に思っていたが、未来の自分のために挫折に負けずやっっていこうと思った
- ・ 今の自分にできることを考え行動することの必要性を改めて知ることができた
- ・ 今の自分のできなさなどに悩むこともあるが、成長している過程・成長するチャンスだと捉えて、広い視野で物事を考え成長していきたい(2)
- ・ 自分は何を目指して今の職種として働かせてもらっているのか、なぜ今の職を選んだのか、改めて見つめ直し理解し、自分が「やりがい」「幸せ」を感じる瞬間に目を向けることで患者様にとっての「よりよいケア」を考えることができると学んだ
- ・ なぜ看護師になったのかということ改めて考え、モチベーションを上げて頑張っていきたい
- ・ 日々の業務に精一杯で、自分がなぜ看護師になろうと思ったのかを忘れていた
- ・ 業務に追われて、自分がなぜNsになりたかったのか、仕事が好きになれないこともこの3か月の間に何度もあったが、まずは“I like me”を心掛けていきたい
- ・ やる気・モチベーションのスイッチを入れて、働いていきたい・毎日を頑張りたい(4)
- ・ モチベーションスイッチをONにするのは自分自身!! 辛いこともあるけど、少し考え方や見方を変えて前向きに生きたいと思った
- ・ 自分が満たされてこそ周りにも元気を与えられ、モチベーションを上げてハートフルな仕事ができる
- ・ 仕事に対するモチベーションは自分の気持ち次第で変わってくるので、ポジティブに何事も捉えて、感謝の気持ちを持っていこうと思う
- ・ モチベーションを高めたいと思っていた。明日から自分らしさ・自分の強みも大切にしながら、目標に向かって頑張ろうと思った
- ・ 笑顔・思いやり・モチベーションを大切にして、日々業務に従事しようと思った(3)
- ・ モチベーションを上げるために明確に目標を立てていきたい
- ・ 患者さまに誠意を持って対応したい
 - ・ 相手のことを考えていこうと思った
- ・ 嫌だと思えることも、視点を変えて取り組んでいこうと思った
- ・ 何事も自分から進んで行動するべき、自分が気持ち良く接しなければ相手に不快な思いを与える、態度・表情は相手に敏感に伝わる、を改めて実感した。自分から心の扉を開いて接しようと思った
- ・ 自分にばかりベクトルが向いていると、周りに目が向けられなくなるので気をつけていきたい

- ・ 自分の気持ちではなく、自分ができる仕事を、精一杯心を込めてしようと思った
- ・ 一日の業務をこなすことに精一杯で、先輩に理不尽なことを言われ気にくわないこともあるが、辞めずに仕事を続けていこうと思った
- ・ 自分の意識改革をすることで周囲にも影響を与え、より良いチーム・組織に繋がっていくと感じた
- ・ 弱みにフォーカスしている暇はない。受け止め方は自分で決められる！という言葉が一番心に響いた。仕事で悩むことも多かったが、とても元気をもらえた
- ・ 自分の認知を変えることによって受けとめ方は変わると聞き、今日から考え行動して行こうと思う
- ・ 自分とは違う考えの人がいることは面白いという発想に変える
- ・ 「あなたと私、みんな違うからおもしろい」、皆がそう感じてくればいいと思った。周りには「あなたとは違うから私とは合わない」という考えの人がたくさんいる。「りんご買ってきて」では「何色のりんごですか？」に気づけないのが今の自分。そういう所に気づけるよう気遣いできるような笑顔で頑張りたい
- ・ 仲間との違いを認識した上でコミュニケーションをとる
- ・ 自分を認め、自分を好きになる
- ・ 自分の強みを見つけて、前を見て進んでいくことが今できることだと感じた。自分からの歩み寄りやハートフル、思いやりを持って人と関わるのが大切、一人ひとり違う、違う考えが面白い、という新しい発見と気づきになった。人生の時計で今、朝ご飯も食べていない状況と聞いて心が楽になった。まだまだこれからだ、まだ頑張っていけそうだと思う
- ・ ホスピタリティマインドを持って、まず自分を好きになることを行っていこうと思う。そして同僚を好きになってチームを大切にしていこうと思った
- ・ 自分を好きにならないと患者さんを好きになれないし、ちゃんと見ていくことができないと思った
- ・ 自分が元気で、自分を好きでないと患者のことを看ていくことができない。自分をどのようにコントロールしていくのか、スタッフの方々とどう接するのかがよく分かった。まだ 20 歳なので朝ご飯にも達していない。今自分に何ができ、どのように未来に繋がるのか考えていきたい。夢のない若い人達に人生時計のどの位置にいるのか教えたい。また今日のことを伝えていけたらと思う
- ・ 自分のマイペースな所を長所として活かしていけるようにしたい
- ・ 自分の強みを活かし笑顔で患者さんに向き合っていきたい
- ・ 自分が変わること(2)
- ・ 自分を変えられるのは、自分の元気とやる気だと思った
- ・ 自分の強みを認めていきたい
- ・ 自分も何かしたい、現状を変えたいと思ったが、何がしたいか分からず職場を変えた。講演を聞き、常に勉強する姿勢・仕事が楽しいと思えることにすごいと思った。自分も常に考え、行動ができるよう少しずつ勉強したいと思う
- ・ 自分の状況、周囲の状況を冷静に分析できるようになろうと思った
- ・ 「人であふれた駐車場」は以前見たことがあるが、もう一度見て、改めて自分の仕事への姿勢について考えさせられた。また先生が何度、どのような逆境に立たされても視点を変えて前向きに立ち向かわれた話を聞き、自分に足りない部分だったので本当にすごいと思った。今は余裕がないが、改めて自分を振り返ろうと思う。ありがとうございました
- ・ 駐車場のおじさんのような人間になろうと思った
- ・ 最後の動画にとっても感動した(2)
- ・ アドラー心理学を思い出した
- ・ ポジティブ心理学に興味を持った
- ・ 気づいたことが何でもメモを取り実行する

2. 講演『看護の約束 一命を守り、暮らしを支える』を聞いて。

(講師：岡山大学大学院保健学研究科 看護学分野 教授 秋元典子 先生)

A.

a.大変勉強になった	135名	c. 勉強にならなかった	0名
b.勉強になった	64名	d.全く勉強にならなかった	0名

B. 感想や、今後自分で取り組んでいこうと思ったことがあればご記入下さい。

- ・ 新人ナースとして頑張っていこうと思った
- ・ 看護を行う上でとても勉強になった
- ・ これから働く上でのモチベーションになった
- ・ 看護が持つ力を改めて感じる事ができた
- ・ 看護師は何をしているのかを、しっかりと今後話そうと思った
- ・ 先生のお話はやっぱり、楽しく勉強になった・楽しい講演だった・為になる(3)
- ・ 分からないことで一杯いっぱいになることもあるが、負けずに頑張ろうと思った
- ・ 心遣いの素晴らしさについて学ぶ事ができた。ありがとうございました
- ・ 看護の本質・原型を忘れず、これからも仕事をしていきたい(2)
- ・ 看護の役割・本質について、改めて学ぶ事ができた・常に考えていきたい(3)
- ・ 看護の基本・看護職がどうあるべきか、再度考える事ができた(2)
- ・ 自分の看護の姿勢について深く考えさせられた。常に患者サイドで物事を捉え、今この患者が求めていることは何かを考えることや基本技術の大切さについて実感した。改めて日々の業務の中で患者が求めていること、何が大切か考え行動していきたい
- ・ 看護師という職業の独自性はどのようなところにあるのか、看護師にしかできないことは何なのか、について理解する事ができた
- ・ 看護師にしかできないことがあるということを改めて感じ、患者さんのことを考えた看護を提供したいと思った
- ・ 患者さんのために看護師として何が出来るか・必要かを常に考えながら働くように取組もうと思う
- ・ 医師は病態的なサポートができるが、看護師は精神面・生活面のサポートができ、どちらも大切だということに改めて気づいた
- ・ 看護は命を守り、暮らしを守るという言葉が心に響いた
- ・ 看護とは命を守り、暮らしを支える。そう思うと、自分が看護師になったことを誇りに思う
- ・ 「看護は人々の命を守り、暮らしを支えることができる」ということを頭に置き、今後働いていきたい
- ・ 看護とは命を守り、暮らしを支えることができる大切なことだと改めて学ぶ事ができた
- ・ 看護の原点が、命を守り暮らしを支えるということを、忙しさにかまけて忘れがちであることを改めて感じた
- ・ 業務に追われ、看護とは何か曖昧になっていた部分があったと思う。改めて根本に戻ることができた。明日からも目の前の人にとって何が一番必要なのかを考えながら対応していきたい
- ・ 4月に転職しNs 2年目。前の急性期病院とは業務のあり方や時間の動きも大きく違い、患者の時間でなく、どうしてもスタッフの時間で行動せざるを得ない。講義を聞き、改めて“看護師”として患者との接し方・ケアなどを考え直す事ができた
- ・ 今年から看護師として働き始め、業務を覚えこなすことで一杯いっぱいであるのが現状。しかし、自分は何者なのか、何をすべきなのか考え直す機会となった。看護とは何か、看護師だからできること・気づけることがあるのだと感じ、今後活かしたい
- ・ 自分にしかできない看護・思いを、相手から求められ、それを返したいと思う。今一度自分の看護を振り返り一日一日を大事にしていこうと思った

- ・先輩看護師の患者さんへの対応に少し疑問を持つこともあるが、自分が思う、患者さんが望む看護をしていきたいと思った
- ・「看護とは」について深く考えさせられた。患者さんを数値やデータだけで見るのではなく、患者さん自身をしっかり看ることが大切だと改めて感じた
- ・看護師の仕事について改めて考え直すことができた。患者さま本人や生きてきた背景に目を向け、何を求めているのかを感じ取り、行動に移せるNsになりたいと思った
- ・Drでさえも患者の生活のことを考えているのであれば、Nsは何をすればいいのか考えさせられた
- ・看護師の役割とは何か？と日々考えながら、忙しい業務の間を縫って患者さんのケアをしていきたい
- ・学校に入る前は、看護師は医師の手伝いをする人だと思っていたが、臨床の現場で働いてみると、医師の介助だけでなく“療養上の世話”は看護師の大切な役割だなと思った
- ・本来のナースの姿を実感した。人間には自然治癒力があるため、外部からの治療（点滴・薬など）は回復へのお手伝いだということを頭に入れたケアを心掛けたい
- ・看護師としての役割を改めて認識するようになった。命を助けるために看護技術を身につけて、使いこなせるようにしたいと思った
- ・看護職は身体と生活の両方が分かる唯一の医療職ということを再認識できた。先生の体験談は心に響いた。日々のケアを大切に、看護職としての誇りを持って仕事をしていきたいと思った
- ・ご自身の体験からのお話で分かりやすく、看護の本質を考えさせられた(2)
- ・ご自分が経験されてきて感じたことなどを聞いて分かりやすかった(3)
- ・話すことがしんどい中、講演してくださりありがとうございました。患者、看護師、看護の教育者と様々な体験から様々な角度でみた看護の話聞いてとても楽しかった
- ・観察と気遣い・関心を持つことが非常に大切だと改めて実感した
- ・実体験の中から、看護とは何かということを知りやすく教えていただいた
- ・先生の実体験に基づいたお話を聞き、患者さんの気持ちがよく伝わったので、忘れず日々の生活の中で関わっていこうと思った
- ・実体験からの思いがよく伝わり、患者が看護師に何を求めているのかがよく分かった
- ・患者経験をされたお話を聞き、どれだけ生活の援助が必要かを知ることができた(2)
- ・患者体験談を聞き、患者さんの今現在の不快・辛さを軽減するための日常生活援助の大切さを感じることができた。日々の業務を見直し、患者さんとの関わりを大事に安楽に入院生活を送れるように細かい観察力を養っていききたいと思った
- ・患者体験から、Nsが持ちがちな視点ではなく、療養上の世話がいかに患者さんの心の支え・回復に繋がるのかを学べた
- ・体験のお話の中から、看護に必要な不快を取り除き生活の支援を行い、治癒力にエネルギーを向けてもらえるようにしていきたい
- ・患者の立場からの、生活を整えることが患者さんの大きく望むことであると聞いて、業務を行うとき気をつけようと思った
- ・自分で生きて来れていたのに、病気で入院して管理されるようになって辛かったというお話を聞き、何気ないことでも患者さまの立場に立って考えないといけないと改めて思うことができた
- ・先生の患者を体験されたお話は、特に看護師として基本的に大切なことであると再認識した
- ・「看護」の役割の根本にあるべき患者さまへの意識・ケアについて、先生の体験的な思いを聞き、介護職である自分の病院での役割とは何かを考えることができた
- ・先生の実体験を聞いて、ナイチンゲールの行っていることは正しいのだと感じることができた。もっと環境やQOL向上のための看護を行っていききたい

- ・ 体験を通してのお話に胸を打たれ、説得力を感じた。自分も今の仕事に誇りを持って頑張ろうと思う
- ・ 一人の人として、細かい配慮をしていきたい
- ・ 今の自分にできることを精一杯やりながら、経験を積んで“看護の約束”を実践できるようにしていきたい。お身体をお大事に、今後もご活躍ください。ありがとうございました
- ・ 新人看護師の頃のエピソードが聞けて、どんな看護師も今自分が知る状況を経験されていたのだと思った。今できないことに落ち込むのではなく、1年後やこれからの為にしっかり学んでいきたい
- ・ 新人Ns時代のお話を聞き、今講演されていると思うと本当にすごいと思った。お体に気をつけてください
- ・ 周りに流されず、長い目で自分を見て、何年後かに本当の意味での看護師になれることを目標にしたい
- ・ 自分もミスが多く悩む日々。お話を聞き少し楽になった。一つずつ頑張ろうと思う！
- ・ 自分も仕事が上手くできないと考えることが多いが、まず患者さんの生活の苦痛なども考えて、少しずつでも自信を持っていけるようになりたいと思った
- ・ 入職して2か月なのでできることが少ない今、療養上の世話を大切に明日から頑張ろうと思った
- ・ お話の中に、自分ももしかしたらしてしまっているかも知れない事がたくさんあった。患者に関心を持ち、今大事なことは何かをアセスメントしていきたい
- ・ 常識はあると思っていたが、周りから非常識だと思われる行動をしていたと気づかされる経験が最近あった。この体験を忘れず、不足していることはないか？本当にこれでいいのか？常に問いかけながら仕事に励んでいきたいと思った
- ・ 患者さんに関心を寄せてケアすることは、自然治癒力を引き出していく上で大切なことだ分かった
- ・ 看護実践の原型は不変!! 患者に関心を向けて看護を実践していきたい
- ・ 事例Aさんの紹介を聞き、今までしてきた仕事を見直さなければと思った
- ・ 看護師が気づかなくてはならない場面で、業務に集中して気づけていないということを知り、自分の行動を省みなければいけないと感じた
- ・ 業務を覚えることに一生懸命で、患者さんに看護を提供できていなかった。業務で一杯いっぱいの中でも、患者さんに挨拶をする、何か困っていることはないか聞き、小さなことでも患者さんの為になることを一つでも行いたい
- ・ 仕事を覚えなければという思いが強く、患者さんに“看護”ができていないことを実感した。不快や辛さを緩和することが看護であることを再確認することができ、とても学習になった。“寄り添う”という意味を理解できたのでとても良かった
- ・ 今自分が働く上で、ケアが不足していると思っており、もっと患者さんに必要なケアをしたいと思った。医療的知識を身につけると共に、何が患者さんに必要か考えて動くように、日々意識した行動を取ろうと思った
- ・ 診療の補助がNsの仕事の占めていると思うが、大事なのは療養上の世話であり、Ns側が患者に何をして差し上げるのが一番なのか、患者は何を求めているのかがよく分かった。患者を看ること、触ることを忘れないようにしたい
- ・ 今自分のことで精一杯の毎日だが、患者様を思いやる気持ちを忘れず仕事に努めたいと思うことができた
- ・ 業務を覚えるのに一杯いっぱい、患者さんに気を配ることができていないのかもと思った。患者さんの生命力の消耗を最小限に抑えることができるように看護していきたいと思った
- ・ 学生のうちから怖いことと言えば注射だが、悩むべきことはそこではないということが分かった
- ・ 業務ではなく看護。常に“自分だったら”と考えて患者さんに寄り添うこと。そういった看護師になろうとこの道を選んだ希望を忘れることなく、これから頑張っていこうと思った

- ・ 勉強に追われて患者さんのことをしっかり見ていないと気づいた。患者さんの不快を取り除くことができるのは自分達の生活援助であり、今の自分にできることであり、看護の根本でもあると思った
- ・ スタッフも少なく忙しい時でも、患者さまの苦痛や不快を取り除く行為はできる限り続けていきたい
- ・ 昔、看護師とは何だろうと思い悩んでいた時期があったことを思い出した。明日から新しい気持ちで、患者さんの不快さや辛さに着目して取り組んでいこうと思う
- ・ 患者さんの不快や辛さに気づくことができ、緩和に繋がる援助ができるように努めていきたい(4)
- ・ 若い頃は漠然として身近に感じられなかった患者の苦痛やしてほしいことが、少しずつ理解でき援助できるようになってきた。現場では CW の仕事になっているような日常生活援助だが、看護師の視点を持ち心配りをしながら丁寧な援助をしていきたい
- ・ 以前先生のお話を聞き、自分も患者さんの不快を取り除けるよう頑張ろうと思った。今、寝たきりの患者に対して楽な体位はどう取れば良いか等日々考えるようにしている
- ・ ストレス、不快なことや苦痛を緩和して余分なエネルギーの消耗を防げることで、治癒力を上げる方に回していくことが大切だと思った。入院が当たり前ではないということを考えなければと思った
- ・ 患者に不必要なエネルギー消費をさせないよう、常に意識づける
- ・ 患者が何を求めているのか考え、聞く・患者さん自身をしっかりみる大切であると感じた(4)
- ・ モニタリングばかりに気を取られず、患者さんの苦痛を取り除くということに注意していきたい
- ・ 患者さんが何に困っているのかなど、自分達の“気づき”も必要だと感じた。患者さんが不快な思いをしないようにしていくために日々の観察をしていけるようにする
- ・ 「観察する」ことを目標に毎日業務を行っているが、実は患者さんのことをあまり見ていないのではないかと思った。患者さんが今求めていることは何か、その人のことを上から下まで見て、考えて、適切な環境を整えていきたいと思った
- ・ 自分に今何ができるのか？患者が何を望んでいるのか？それを考え、自分の役割をしっかり果たせるようにしたいと思った。素敵な講演だった。ありがとうございました
- ・ 観察力・気づきを日々向上させ、患者さんの気持ちを考えて行動していくことができるような素敵な看護師に成長していきたいと思った
- ・ 自分が患者の立場になった際のことを考え行動できる看護師になり、またナイチンゲールの看護覚書の内容を振り返ってみようと思う
- ・ 患者の立場になり、安心してもらえるような自然治癒力を高められるような看護がしたいと思った
- ・ 患者の立場・目線になって、看護をする・気持ちなどを考えていく(5)
- ・ 患者さんにとっていいことを実施していきたい
- ・ 患者さんの目線で、何が必要なかをアセスメントして援助していこうと思った
- ・ 看護ケアに目を向けることの大切さに改めて気づいた(2)
- ・ 看護は人間性を大切にして、患者のことを考えることが大切だと思った
- ・ 患者さんの生活を守る・日常生活を支援することの大切さに改めて気づいた(2)
- ・ 日常生活援助を大切にしながら、看護を行いたい・患者さんと関わろうと思った(2)
- ・ 療養上の世話が看護師に与えられた大切な仕事だということを忘れないように業務にあたりたいと思う。看護師として頑張っていこうと思う。最後のお産の話、ありがとうございました
- ・ 日常生活行動への援助も充実させていけるよう、様々なことに気づけるようになっていきたい(4)
- ・ 看護師にしかできない日常生活援助を必要なことだと全く感じることでできていなかったと思う。疾患も勉強しているのならば、Nsにしかできない看護を提供できるようにしていきたいと思った
- ・ 時々、なんで自分がこんなことをしないといけないのか分からないことがあるが、話を聞き、命を守り暮らしを支えるためにやっているんだと感じることができた

- ・ 命、安全を守ることは当たり前で、治療の支援だけではなく、日常生活を支えていくことが看護なのだと思った(3)
- ・ 看護を行う上で命を守ることはとても重要なことだが、日常生活を支えていくことも大切であることに気づいた。患者にとってより良い生活が送れるように援助していきたい
- ・ まだまだ業務に一杯いっぱいの中で、処置の方ばかりに注目してしまうことが多かったが、もっと患者さんの日常生活に目を向けて支援ができるように頑張っていこうと思った
- ・ 日常生活行動の支援より診療の補助のことばかりを身につけようとしていることに気づいた。今一度看護の基本を考え直そうと思った。また、患者さん一人ひとりをよく観察することで、不必要なエネルギー消耗をさせないように関わっていこうと思った。本当のケア・ケアリングの意味を教えてもらった。ありがとうございました
- ・ 学生の時とは時間に追われることもなかったが、働き始めて“命を守る”ことに重きを置いている自分がいたような気がした。患者の生活(暮らし)を支えることもNsの役割であることを再認識でき、初心を思い出すことができた。自分の行動を見直し、気持ちを改めて仕事に取り組んでいきたい
- ・ 臨床では清拭や洗髪など患者さんの日常生活の援助がたくさんあるが、その一つひとつが患者さんの為になるよう、関わっていける看護師になる必要があると思った
- ・ 日常生活行動の支援を行うことで、生活しやすい環境を整えてあげ、暮らしをより良いものにできるように患者さんを支えていきたい
- ・ 新人ではないが、現職場に入職して1年弱、業務に追われ患者さまの日常生活行動の支援ができていないのが現状。明日からの療養上の世話(生活の援助)を行いたい。新人になった気がする!
- ・ 処置や生活面を、全体を通して見ていけるようにする(3)
- ・ 看護師として、病態・生活両方をアセスメントしながら、患者さんを支えたいと思う(2)
- ・ 点滴や注射等の処置だけでなく、清拭や食介などの介入も看護師の仕事だと思う。一つひとつのことを丁寧に患者さんに提供していきたい
- ・ 時間を上手に使い、清拭やシーツ交換なども積極的に行っていこうと思った。患者と関わる時間を大切に看護師として関わりを持っていきたいと思った
- ・ 人と関わることの大切さを学べたので、患者さんとの関わりを大切にしていきたい
- ・ Nsにできることって、簡単なことだなと思った ・ 適応エネルギーに目を向けて看護実践していく
- ・ 人の生命力は、生活がいかに満たされるかだと思った ・ 療養上の世話の質にプライドを持つ
- ・ 何でも「考えて」自分で行動ができるように取り組みたい
- ・ 療養上の世話、診療の補助を融合したケアが行えるように頑張りたい(2)
- ・ 療養上の世話、生活の支援を大切にしていきたい・目を向けて看護していきたいと思った(3)
- ・ 経験談のお話はとても勉強になり良かったが、余分な話が多すぎて長すぎて、もう少し省いてもいいと思った

3. 今、悩んでいることは何ですか? また、今回の研修で何かヒントになることがありましたか。

【悩んでいること】

- ・ 上司との関わり方 ・ 先輩との関係が上手にできない
- ・ 人間関係(4) ・ 先輩方と人間関係を作ること。仲良くなりたいけど、いまいち距離が遠い
- ・ 先輩スタッフとのチーム看護をどうするか悩んでいるが、心を開いて歩み寄ろうと思った
- ・ 全ての人と仲良くするのは難しく、コミュニケーションをとるのも日々大変だなと感じている。人と関わる仕事だからこそ、抱えるものは大きく責任も重いと感じている

- ・先輩看護師みんなが優しいのに、慣れていないので少し気疲れを感じる。でも同期や新人全員がそう思っていることだと思った
- ・職場での人間関係と、仕事内容の不慣れさ、病態を把握して理解していかなければならないこと、全てが重なり精神的にも身体的にも休まるときがない
- ・看護観の違い
 - ・ 業務を覚えられなくて苦労している
- ・知識の不足
 - ・ 何もできない、何も分からないのが今の悩み
- ・看護技術が上手く行えない
 - ・ できないことが多く、自己効力感が得られない
- ・サーフローの留置ができない
 - ・ 仕事をする中で、できないことが一杯で悔しいこと
- ・自分に看護をできるのかが不安
 - ・ 業務に余裕がなく、自分本位な看護になってしまっている
- ・日常生活の援助があまりできていない
- ・業務に追われて、患者さんを時間をかけて観察できない
- ・毎日、頑張って患者さんの前に立つためのアドバイスをください
- ・分からないこと、できないことが多いため、先輩達のようにになれるのか不安がある
- ・できないこと、分からないことが多く、同期の看護師に置いていかれるような気がして不安
- ・できない、ミスが多い自分が嫌になる。4月の時の気持ち（やる気）と今の気持ちが違い、この先やっていけるか不安
- ・2年、3年と経ち、患者さんやチームNsに頼りにされるNsになっているか。1年目を乗り越えられるか
- ・新人に対する教え方が違い戸惑っている。もう3か月だが、看護師としてこのまま仕事をしていいのか不安になる
- ・業務に追われて、患者さん一人に関われる時間が短く、思うようにケアができていないこと
- ・自分の行っているケアが患者さんに合っているのか分からない（言葉掛け、対応など）
- ・患者さんに十分なケアを提供できているのか分からない。理想に現実が追いついていない
- ・看護記録を書くことが早くできないと患者さんの所に行けない現実・・・
- ・忙しさに押されて“業務”になってしまっている部分があること
- ・業務に追われて看護ができていのかと思う。シーツ交換も助手さんがいたらいいのにと考えたことがあるが、先生の講演でNsがなぜ行うのか考えさせられた
- ・少しでも早く一人前にしようという先輩方の想いはヒシヒシと伝わってくるので頑張ろうと思うけど、それがプレッシャーになることがある。でも焦る必要はないと思った
- ・緊張してしまい表情が硬くなり、嬉しいことに対しても誤解されてしまうこと
- ・上手く伝えられない⇒職場での言葉の使い方を、自分は理解できていなかったと理解した
- ・態度の悪い患者に対する対応
 - ・ 仕事が大変で不安が多い。疲れが溜まっている
- ・残業
 - ・ 仕事がしんどい
 - ・ 生活リズムが整わない
- ・残業が多くて、休みも勉強会があったりで心も体もうまく休めていない

【ヒントになることがありましたか】

- ・人間関係 ⇒ 人と接する時は笑顔や見た目、挨拶が変わると学べたので、心掛けて気をつけていきたい
- ・先輩方との関わり方が分からない ⇒ マナーの基本的原則である“挨拶”“言葉遣い”に気をつけて先輩方とコミュニケーションをしっかりと取ることが大切であるということ
- ・先輩とコミュニケーション ⇒ 現場で見たこともない器械や道具などを見た時に、こんな物も知らないのかと思われるのが嫌で聞けなかった。分からないことがあればその都度聞いていこうと思う
- ・コミュニケーションは能力ではなく、意志だということを知ることができた
- ・気を遣って自分の調子が掴めず、気を遣われてしまう ⇒ 笑顔や挨拶などで周りは変わっていき、働きやすい場所になるのだと気づいた

- ・先輩の顔色を窺いながら仕事をするのがストレスになっている ⇒ まずは自分から挨拶をする！
- ・気持ちの良い挨拶と細やかな配慮を日々心掛けようと思う
- ・看護とは何かをもう一度考えさせられた(2)
- ・看護とは何かをしっかりと考えることが大切だと思った
- ・マナーや看護の大切さを改めて学ぶことができたので、今後も気をつけていきたいと思った
- ・4月から看護師として働き始めたが、まだまだ不安なことはいっぱい。講演を聞き、あったかい心を持つこと、看護の基本を改めて学ぶことができて良かった。これからも頑張っていこうと思った
- ・仕事に対するモチベーションが上がった。貴重な講演ありがとうございました
- ・3月まで前職場で“〇時まで決められた仕事を終わらせる”ということに悩み、とても辛かった ⇒ ホスピタリティマインドでチームで生き活きと働くと言うことが心に響いた。あなたと私違うからおもしろい、という発想に共感した
- ・チームの一員として働く上で大切なことや、看護師として実践すべきことを改めて考えることができた
- ・理想で思い描いていたNsに全然なれないことが悩みだが、自分の目指すNsになれるように行動しようと思った
- ・日々新しい学び・技術を習得して余裕のない毎日で、いつか自分の望むNsになれるのか、一人前になれるのか不安だが、今はまだ成長途中にあるのでまずは目の前の一つひとつに取り組みたいと思えるようになった
- ・慣れないことばかりだが、一生懸命して、できることを少しずつ増やしていきたい
- ・考えて行動することによって、自分の仕事に自信を持っていきたい・広い視野を持ちたい(2)
- ・いろいろな視点から物事を考えて、視野を広げて成長していきたいと思った
- ・目の前のことで精一杯になってしまう ⇒ 一つひとつの処置だけでなく、細かな患者さんの様子を観察して不快さや辛さを取り除いていきたいと思った
- ・業務範囲の広さと覚えることに精一杯で、自分の役割が不明確になってきていたが、患者への思いやりを持った姿勢でベッドサイドに行き、命を守ること・暮らしを支えることが大切
- ・今は知識も十分でなく、自分のことで精一杯な面もあるが、負けずに患者に安全・安楽を提供できるようにになりたい
- ・患者さんの苦痛を和らげたいと強く思い看護師になったが、日々の業務に追われて考えられていなかったことに気づいた。この研修で、頑張っていこうと思えた。ありがとうございました
- ・時間に追われて、自分のすることが多すぎて見失いそうになる ⇒ もう一度立ち止まって看護を大事にしようと思った
- ・今置かれている環境で自分の役割を果たしていき、患者の気持ちにそったケアをしていきたい
- ・今仕事も生活も一杯で前向きになれないことがある。でもマナーや看護の約束を忘れずにやっていけば、また前向きになれる気がした
- ・結婚して新しい土地の病院で仕事を始めることになり毎日緊張しているが、自分のことばかりでなく、患者の目線になって看護していこうと思った
- ・仕事についていけない ⇒ 前向きに考えて仕事をしたいと思う(2)
- ・仕事ができないと思っていたが、一つひとつきちんと向き合い、患者さんを一番に思い看護していこうと思った
- ・看護技術がうまくできず悩んでいたが、患者さんが何を望んでいるのか観察し、察知し、常に関心を寄せることが大切だと感じた
- ・不安の中で仕事をしていて“しんどい”という思いが強かったが、仕事を楽しく行えるヒントをもらうことができた

- ・ 資格取得が遅く経験・知識が少ないので、気持ちがとても焦っている ⇒ 知識・技術+今日学んだことを柱にして自分なりの看護ができる看護師になりたい
- ・ まだまだ自分一人のできる仕事が少ないが、ゆっくり慣れて安全に行えるようになるまで頑張ろうと思えた
- ・ 今自分にできることが少なく、向いていないのではないかなどと思っていたが、今自分にできることは他にもっとあり、それをしていこうと思えた。ありがとうございました
- ・ まだ上手く点滴が刺せず悩んでいたが、自分が重きを置くべきはそこではないということが分かり、少し元気になった
- ・ 自分の視野の狭さや技術力の無さに悩んでいたが、研修を通して、自分が見るべき事、変えるべき意識についてもう一度見つめ直すためのヒントをいただいた
- ・ 看護技術ができないことを悩むのではなく、できないのが新人として当たり前なので、生活の援助をしていきたいと思った。講師の先生でも新人の時は同じ気持ちだったんだと嬉しくなった
- ・ 要領が悪く全く仕事ができず悩んでいたが、先輩の失敗談を聞き、皆ここを乗り越えてきたから仕事ができるようになったんだと思い、少し気持ちが楽になった
- ・ 何もできない。できることは？と聞かれても答えに困ってしまう今だが、秋元先生のように立派に看護について考えている方でも新人の頃は失敗も繰り返されていて、これからも頑張っていこうと思った
- ・ 秋元先生も新人の頃はとても苦労したと聞き、悩んでいるのは自分だけではないと思った。できてないことばかりにフォーカスしていたが、日々できることを一つひとつコツコツ努力して増やし、患者さまに信頼されるNsになりたいと思う。ありがとうございました
- ・ 要領の悪さや時間配分を考えて行動できないこと、患者さんの理解も不十分でこの先やっていけるのだろうかという思い ⇒ まだまだ始まったばかりで、考え方を変えることでプラスに働くのだと思うことができた
- ・ 悩みは多くあるが、与えられた課題を超えられたら成長に繋がると思うので、努力したい。課題をチャンスと思い成長していきたい
- ・ 人の役に立てていないと思い悩むことが多いが、今自分にできることを精一杯やっていきたい
- ・ 体力がないこと、体が弱くすぐ風邪をひいてしまうこと ⇒ 自分にできることをしていき前向きに進んでいくことが大切だと思った
- ・ 失敗することやできないことも多く、自分はこの職業に向いていないのではないかと思うことも多いが、自分にできることをきちんと患者さんにさせていただきながら、学んでいきたいと思った
- ・ 仕事に行きたくないと毎日思っていた。自己嫌悪に何度も陥っているが、今の自分の状況を変えられるように、自分を好きになること、そして人を好きになることをやっていこうと思う
- ・ 自分には何もできず看護師としての自信がなくなっていたが、自分の強みを思い、もう少し頑張ろうと思えた
- ・ 自分は本当に看護師に向いているかと悩んでいたが、まだ決めるのは早い・とりあえず頑張ってみようと思った(2)
- ・ 今の自分にできることは何か？と悩んでいた ⇒ 看護の基本を忘れず、仕事を覚えることだと気づけて気持ちが楽になった
- ・ 自分の役割は何か、何ができるのか分からなくなっていた。しかし、まだ失敗しても良いのかな・・・でも同じ間違いはしないようにしよう、笑顔でいようと思った。ありがとうございました
- ・ 新人は知識をどんどん取り入れていく中で診療という面に注目することが多いと思うが、患者さん目線に立って丁寧な療養上の世話というケアを行っていく
- ・ 看護とは命を守ること。モチベーションをしっかり持って取り組む力

- ・ 療養上の世話が大切なことは分かっているけれども仕事の多さで行いきれないことがある ⇒ 一人の患者にたくさんのケアを行っていききたいと思う
 - ・ 療養上の世話を面倒くさがっている自分がいたが、療養上の世話にこそ看護師がもっと注目しないといけないと学べた
 - ・ 業務ではなく看護をしていきたいと強く思った。ありがとうございました
 - ・ ベッドサイドでも患者への接し方を大切にしていきたいと思った
 - ・ 患者さんのことを思い、目の前のことを精一杯工夫しながら支えていきたいと思う
 - ・ 技術や知識は大切だが、何よりも QOL が重要であると頭でしか思っていなかったなあと感じた。怒られネガティブになることもあるが、ポジティブにできることをコツコツ増やしていこうと思う。ありがとうございました
 - ・ 厳しい意見をされる時がありショックを受けることがあるが、人それぞれ違う考えがあり、そこを自分自身理解しなければいけないと思った
 - ・ いろいろな仕事があるんだなと思った
- ・ 悩みはありません(3) ありがとうございました
 - ・ この研修に参加させていただき、現在の職場に感謝。素晴らしい講演だった

【年 齢】	【勤務年数】
19～24歳 (129)	～6ヵ月未満 (167)
25～29歳 (22)	6ヵ月～1年未満 (2)
30～34歳 (11)	1年～5年未満 (14)
35～39歳 (13)	5年～10年未満 (6)
40～49歳 (14)	10年～15年未満 (0)
50歳以上 (3)	15年～20年未満 (1)
未記入 (7)	20年～30年未満 (3)
	30年以上 (2)
	未記入 (4)

【職 種】 看護師 (191) 准看護師 (3) 助産師 (1) 介護福祉士 (1) 未記入 (3)